

第四回子ども映画撮影会

古典落語より「お血脈(おけちみやく)」

登場人物

閻魔大王

司録

司命

和尚

罪人1

罪人2

罪人3

石川五右衛門

ナレーター

#寺 全景

ナレーター「むかしむかしの話でございます。長野県のとある大きなお寺がお血脈の御印というものを売り出しました」

#善光寺

罪人たちが和尚さんより頭に御印文(ごいんもん 帽子のような形のもの)を頂戴している。

罪人1「俺は若いころからたくさんの悪事を働いてきた」

罪人2「でもこの御印門をいただいたら、すべての罪はきれいに消えてしまうのだ」

罪人3「極楽にいけるぞ」

● * * * *
罪人1、2、3ジャンプする。

#空

極楽にむかって飛んでいく罪人たち。(合成)
(罪人たちの静止画を撮影しておくこと。)

#地獄

閻魔大王と、その左右に控える書記官の司録と司命。
ナレーター「困ったのは地獄の閻魔大王です」

閻魔大王「おい、悪人たちがみんな極楽に行ってしまったので、地獄に人がいなくなってしまうではないか」

司録「閻魔大王、この事態を解決するのにうってつけの男を呼んでいます。おい、出てこい」

空舞台から石川五右衛門が現れる。走って向かってくる。

五右衛門「お呼びでしょうか」

閻魔大王「誰だお前は」

五右衛門「私は石川五右衛門。大泥棒です」

司命「悪人どもが地獄にやってくるように、噂の御印門を盗み出し、閻魔大王のもとに持ってこい」

五右衛門「お任せください」

五右衛門、消える。

#善光寺

五右衛門、現れる。御印門を見つめる。

五右衛門「これを地獄に持ち帰れば閻魔大王に喜んでいただき、俺は満足する。

……とても思ったか」

五右衛門、御印文を頭に当てる。

ナレーター「五右衛門はそのまま極楽に行ってしまった」

#空

極楽にむかって飛んでいく五右衛門。(合成)

#地獄

空を見上げる閻魔大王と助手。

閻魔大王「五右衛門め、裏切りおって」

司録と司命「……いいなあ」

閻魔大王「なんだと！」

終わり